



独立行政法人国立病院機構
小倉医療センター 広報誌

小倉医療センター だより

Kokura Medical Center

2025 vol. 03
WINTER



巻頭

新年のご挨拶

診療科・チーム医療紹介

消化器病センター（外科・消化器内科）／薬剤部／臨床検査科／リソースナース紹介

病院理念 この街には、この病院があるから住みたいと思われるような病院を目指します。

新年のご挨拶

院長 吉里俊幸

新年あけましておめでとうございます。

国立病院機構小倉医療センター院長の吉里俊幸でございます。

当センターは令和七年四月、病院創設より百五十年の大きな節目を迎えました。明治期に旧陸軍病院として創設され、戦後は地域に開かれた医療機関として、小倉、北九州市、そして近隣の皆様の健康増進に寄与して参りました。この百五十年にわたる歩みは、ひとえに近隣医療機関の先生方、関係各位のご理解とご支援の賜物であり、改めて深く感謝申し上げます。

一方、少子高齢化や人口減少の急速な進展により、医療を取り巻く環境は大きな変革期を迎えております。各医療機関が特色を発揮し、持続可能な経営を確立することが求められる中、当センターは国立病院機構が担うべき政策医療十九分野のうち、成育医療、がん、精神疾患、肝疾患、内分泌・代謝性疾患、骨・運動器疾患の六領域を中心に高度で専門性の高い医療を提供しております。



私共は「この街にはこの病院があるから住みたいと思われ病院を目指す」という理念を掲げ、地域の医療機関の先生方との連携を一層強めながら、地域住民の皆さまにとって真に安心と信頼を託せる存在であり続けたいと願っております。

地域とともに歩んできた伝統をさらに確かなものとし、百五十一年目以降の未来に向けた第一歩を力強く踏み出してまいります。

本年も変わらぬご支援とご指導を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



消化器病センター（外科・消化器内科）

消化器病センター部長 田辺嘉高

Digestive Disease Center : surgery, Gastroenterology

小倉医療センター外科は消化器病センターとして消化器内科・外科が一体となって診療にあたり、迅速対応をモットーに患者さん中心の医療の提供を心掛けています。消化器疾患、肝胆膵疾患の治療では低侵襲な内視鏡手術を中心に、治癒の難しい進行悪性腫瘍では遺伝子検査に基づいた集学的療法を行うと共に、放射線科、病理検査科、看護師、薬剤師など多職種とも情報交換やカンファレンスを行い、治療を受けられる患者さん生活の質の向上を最優先し予後改善を目指した診療を提供できるよう心掛けています。乳腺疾患は乳癌の診療を中心に診断、治療を行っています。平成 30 年 4 月より日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構の基幹施設に認定され（九州では当院を含め 2 施設のみ）、婦人科とも提携し遺伝性乳癌卵巣癌症候群の遺伝子検査やリスク低減手術、予防治療、遺伝カウンセリングを行うと共に今年度から HBOC 外来を新設し、未発症乳がん、卵巣がん等のスクリーニングを行っております。

また当院の特徴として認知症や精神疾患で一般の病院では外科的治療の困難な患者さんに対しても精神科医と連携して精神科病棟管理下に外科治療が可能ですので、徘徊等で治療を断念するような時にはご相談頂ければ対応したいと思います。



薬剤部

Pharmacy Department

薬剤部長 古海和博

私たち薬剤部は、薬剤師 15 名、薬剤助手 4 名、治験事務助手 1 名の計 19 名で構成され、外来から入院まで切れ目のない薬物療法の提供に取り組んでいます。そして患者さん一人ひとりに安心・安全な薬物治療を届けることを使命に 24 時間体制で日々業務にあたっています。

入院時には、すべての病棟に担当薬剤師を配置し持参薬の確認を徹底しています。処方歴や副作用歴、アレルギー情報などを踏まえた処方設計を行い、薬物血中濃度モニタリング (TDM) や薬歴管理、処方提案を通じて有効かつ安全な薬物療法を支援しています。

また、感染対策、栄養管理、緩和ケア、褥瘡ケア、糖尿病など多岐にわたるチーム医療にも積極的に参画し、薬学的知見を共有しながら医療スタッフと連携して、より質の高い薬物治療の推進を支援しています。

今後も多職種との連携をさらに深めるとともに、地域の保険薬局との情報共有を一層推進し、地域全体で患者さんを支える医療体制の構築に貢献していきたいと考えています。

認定・資格 (認定学会・団体)	人数	認定・資格 (認定学会・団体)	人数
認定実務実習指導薬剤師 (日本薬剤師研修センター)	5	日本糖尿病療養指導士 (日本糖尿病療養指導士認定機構)	1
がん専門薬剤師 (日本医療薬学会)	2	日本臨床薬理学会認定 CRC (日本臨床薬理学会)	1
外来がん治療認定薬剤師 (日本臨床腫瘍薬学会)	2	妊婦・授乳婦薬物療法認定薬剤師 (日本病院薬剤師会)	1
NST 専門療法士 (日本栄養治療学会)	2	スポーツファーマシスト (日本アンチ・ドーピング機構)	1
医療情報技師 (日本医療情報学会)	1	リウマチ登録薬剤師 (日本リウマチ財団)	1
外来がん治療専門薬剤師 (日本臨床腫瘍薬学会)	1	GCP エキスパート (日本臨床試験学会)	1
小児薬物療法認定薬剤師 (日本小児臨床薬理学会)	1	GCP パスポート (日本臨床試験学会)	1
精神科薬物療法認定薬剤師 (日本病院薬剤師会)	1		



臨床検査科

Clinical Laboratory

臨床検査技師長 畠伸策

臨床検査科は、医師 3 名、臨床検査技師 20 名、看護師 1 名、事務助手 1 名で 24 時間 365 日、輸血を含めた緊急検査が可能な態勢をとり、高い品質の臨床検査を提供することで、「この病院があるから、この街に住みたい」と思われるような病院を目指します」という基本理念のもと、地域の皆さまが安心して住み慣れた地域で生活できるような医療提供体制づくりに貢献するため、臨床検査科スタッフ一丸となって臨床検査の品質向上に努めております。新型コロナウイルス感染症検査では、リアルタイム PCR (ポリメラーゼ連鎖反応法) 検査、TRC (転写逆転写協奏反応法) 検査、フィルムアレイ (マイクロアレイ法) 検査、全自動免疫検査装置 (抗原検査) を導入し、検査体制の充実を図りました。令和 6 年は、心臓運動負荷モニタリングシステムと全自動血液培養装置が更新され、検査精度の向上と迅速でより安全な検査環境を提供できるようになりました。今日の医療の進歩発展は目覚しく臨床検査の分野においても時代に応じた新たな検査を導入し対応することが必要となってきます。そのため技術や知識および検査精度向上に努めるべく各分野には認定資格を持つ技師を配置し業務を行っております。

◎各種学会が認定する 25 種 48 認定について取得しております。

認定資格	人数	認定資格	人数	認定資格	人数
NST 専門療法士	1	遺伝子分析科学認定士 (初級)	1	福岡県肝炎医療コーディネーター	4
細胞検査士	4	二級臨床検査士 (微生物学)	2	地域糖尿病療養指導士	1
認定一般検査技師	1	細胞治療認定管理師	2	特定化学物質作業主任者	1
認定救急検査技師	1	胚細胞培養士	1	毒物劇物取扱責任者	5
認定血液検査技師	1	超音波検査士 (血管)	1	有機溶剤作業主任者	4
認定輸血検査技師	1	超音波検査士 (循環器)	2	臨地実習指導者	5
緊急臨床検査士	4	認定脳神経超音波検査士	1	医療技術部門管理資格認定	1
認定臨床微生物検査技師	1	認定血管診療技師	1		
感染制御認定微生物検査技師	1	第 2 種 ME 技術者	1		

(2025 年 4 月現在)

今後も地域の医療機関の皆様の要望に常に応えることができるよう、柔軟な対応と迅速かつ正確なデータの提供に努めたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。





がん看護専門看護師 | 下川亜矢



がん看護専門看護師は、「がん看護」に特化した教育を受け、患者さんをご家族のサポートを行います。現在、主に外来化学療法室に従事しており、抗がん薬投与を受ける方々の治療継続、中止に関わる意思決定支援や、根拠に基づいた有害事象の緩和に努めています。病気や治療に伴う痛みなどの身体的苦痛、不安などの精神的苦痛の緩和だけでなく、療養場所の環境調整などを行う社会支援や仕事と治療の両立を行うための就労支援など多角的に患者さんやご家族の苦痛を一つでも減らすためのアプローチを行っています。また、私は遺伝性腫瘍コーディネーターの資格を取得しており、遺伝性腫瘍の方やそのご家族へのカウンセリングを提供しています。現在、「がんゲノム医療」は日常診療の中に組み込まれ、それに伴い意図せず遺伝性腫瘍と判明する方もいます。がんという病気だけでなく、遺伝の問題にも向きあう必要がある方々に適切な遺伝医療を提供しています。

緩和ケア認定看護師 | 倉本麻美



緩和ケア認定看護師として、がんをはじめとした疾患をもつ患者さんとそのご家族の心身のつらさが緩和でき、生活の質の維持、向上ができるように取り組んでいます。患者さんの思いを聴き、生活する中で大切にされていること、どのように過ごしたいのかを話し合いながら、「その人らしく」望む生活ができることを目標に活動しています。

つらい症状の緩和については、緩和ケアチームで介入し、多職種のそれぞれの専門的立場からの意見を統合してよりよい方法を話し合い提案しています。

外来では、がんの告知の際に同席し、「診断時からの緩和ケア」の実践に努めています。

告知後の精神的サポート、仕事や子育て、介護などの社会的問題を事前にキャッチし、必要な部門や院外の在宅医療関係者の方々と連携して、安心して入院、治療ができるようサポートしています。

また、看護職員への緩和ケア、がん看護に関する教育を行い、相談に対応しています。職員を対象とした教育関連の相談や「春ヶ丘宅配便」での講義依頼などお受けできますので、お気軽に声をかけてください。

緩和ケア認定看護師 | 井本あゆみ



緩和ケア認定看護師は、診断時からの緩和ケアの提供ができるように、がんの告知時から患者さんの苦痛に対して介入できることを目標としています。それぞれの患者さんが持つ苦痛を理解し、苦痛が少しでも緩和できるよう、患者さんと共に考え、看護を提供できることを目指しています。

緩和ケアチームの活動では、がんの患者さんに限らず、すべての患者さんを対象に、多職種で苦痛の緩和ができるように検討を行い、それぞれの患者さんの目標に合わせた支援を提供することで、つらさを緩和し、安心・安楽に過ごせるようサポートさせて頂いています。現在、私は内科混合病棟に所属し、部署内の看護師や緩和ケアリンクナースに、会議や学習会を通じてがん看護や緩和ケアについての教育を行ったり、共に看護を実践し、必要時には相談に対応しています。地域で活動されている医療従事者の方のご相談にも対応させていただいておりますので、どうぞお気軽にご連絡ください。

がん化学療法看護認定看護師 | 松園享子



がん化学療法看護認定看護師の役割は、抗がん薬治療を受ける患者さんが安全に、安心して治療を受けることができるように、有害事象についてマネジメントし、患者さん、ご家族を支援することです。

私は患者さんが抗がん薬治療を継続していけるよう有害事象の緩和に努め身体的つらさだけでなく、精神的つらさの緩和に努めるよう心がけています。

現在6階病棟に所属しており、入院中の患者さんが治療を受けながら安心してより良い日常生活が送れるよう支援しています。また後進育成のため学習会や看護実践を通して病棟スタッフへの教育も行っています。

がん化学療法に関する質問や学習会の依頼もありましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。またリンパ浮腫セラピストの資格もありますので浮腫に関するご相談もください。

がん薬物療法看護認定看護師 | 高根友樹



2024年度より、がん薬物療法看護認定看護師として活動しています。近年は、がん細胞の特定の分子を狙う分子標的治療薬や、免疫細胞の働きを活性化する免疫チェックポイント阻害薬など、新しい治療薬が増えています。これらの薬は従来の抗がん剤とは異なる副作用があり専門的な知識を必要とするため、私たちは常に最新の治療情報をアップデートしながら支援に取り組んでいます。

病棟のみならず外来治療室でも、患者さんが安心して治療を続けられるよう、副作用管理や症状緩和を専門的に対応し、吐き気や倦怠感・手足のしびれといった副作用の早期発見と対処を行い、治療に伴う不安やストレスに対しても心理的なサポートの提供を心がけています。また、それらの情報や知識をもとにスタッフ教育に取り組むことで統一された質の高い看護が提供できるよう努めています。

私は、様々ながんにより、長期間の治療を受ける患者さんの治療意欲やモチベーションの支えになりたいと思い看護を実践しています。これからも多様な背景の患者さんのご希望や意思に沿った看護と治療の提供ができるよう尽力して行きます。

感染管理認定看護師 | 元田裕子

感染管理認定看護師として、院内の感染状況の把握や職員への感染対策の指導、感染発生時の対応などに日々取り組んでいます。当院は「感染対策向上加算1」を算定しており、複数の医療施設と連携させていただいております。必要に応じて施設を訪問し、ラウンドを通じて助言したり、感染管理に関するご相談に応じたりしています。感染対策向上加算連携のご希望がありましたら元田までご相談ください。また、感染対策向上加算連携以外でも、手指衛生などをテーマにした「健康宅配便(出前講座)」も行っており、医療従事者や地域の方々にわかりやすく学んでいただけます。こちらの窓口は地域連携室となっております。ご希望がありましたら、どうぞお気軽にご相談ください。

皮膚・排泄ケア認定看護師 | 村田美智恵

「皮膚・排泄ケア認定看護師」とは褥瘡(床ずれ)だけがケアの専門ではありません。ベッド柵や車いすとの接触によるスキンテア(皮膚が裂ける傷)や治療上必要とされる医療関連機器によって引き起こされるMDRPU(器械の圧迫による傷)はもちろん、オムツかぶれや、尿や便失禁、人工肛門のケアなど、患者さんの困った「皮膚」と「排泄」に関して専門的ケアを行います。“胃ろうの皮膚ただれ”も皮膚トラブルなので私の出番です。また当院では患者さんを中心に医師や看護師、栄養士、薬剤師、理学療法士など多職種と協働しながらチームで連携を図りよりよい看護を目指しています。患者さんの苦痛が一つでも改善されたときには、喜びとともにやりがいを感じています。

「皮膚」と「排泄」に関して在宅で支援している医療者の方々と相談・連携させていただけたらと思います。地域への出前講師なども行っておりますのでぜひご相談ください。

精神科認定看護師 | 松尾清隆

近年、精神疾患の増加傾向は世界中で深刻化しており、日本においても例外ではありません。厚生労働省の調査によると、年間の精神疾患による新規受診者数は増加の一途をたどり、特に近年では、うつ病、不安障害、統合失調症といった疾患の増加が目立ちます。この増加傾向は、単に医療機関の受診率が高まっているというだけでなく、実際に精神疾患に苦しむ人が増えていることが考えられます。

私は、2018年から精神科認定看護師として精神科リエゾンチーム、認知症ケアチームに携わり、一般病棟に入院し精神的症状を有する患者と関わっています。週2回のチームによる組織横断的な活動以外にも、認知症予防や不安などの症状に対する直接的な看護も実践しております。元々専門は依存症領域で実践を行ってまいりましたので、アルコールや喫煙、インターネット依存、ギャンブル依存など気になる方はいつでもご相談ください。

プライマリ・ケア領域(小児)診療看護師 | 古家景子

私は、プライマリ・ケア領域(小児)の診療看護師として、特定の範囲内の診療行為(気管カニューレ交換など)に携わっています。患者さんのご家族とかわりながら、診療と看護の能力を発揮し、活動しています。現在は、新生児センターに所属し、医師との協働のもと、点滴確保、採血、気管カニューレの交換、P Iカテーテル挿入や抜去、臨床推論に基づいたケア、看護の質向上に向け実践しています。

お子さんやご家族が、安心して笑顔で過ごせるようなチーム医療や看護を目指しています。新生児のみならず、周産期や小児期に関するご相談など、いつでもお声掛けください。

プライマリ・ケア領域(小児)診療看護師 | 網田真利子

プライマリ・ケア領域(小児)の診療看護師です。小児科病棟・新生児センター・小児科外来・救急外来と、こども達に関わる全ての場所で横断的に活動しています。具体的には医療的ケア児の退院支援や退院前・後の自宅訪問、特定行為の実践、急性期疾患の看護、病状により長期に入院することとなったこども達の看護、診察の介助に携わっています。外来では問診・診察を行わせていただき、早期に介入が必要か判断し医師と連携し対応しています。入院時から退院後までのこども達やご家族に寄り添った医療と看護をチームで提供できるよう支援させていただきたいと思っております。何かご相談がありましたら、いつでも声をおかけください。



病院代表

FAX: 093-522-5072

TEL: 093-921-8881

地域医療連携室

FAX: 093-921-8892

TEL: 093-921-8887

(紹介患者専用)



〒802-8533 北九州市小倉南区春ヶ丘10-1

国立病院機構

小倉医療センター

診療科	月	火	水	木	金	備考
内科一般 (新患) 【内線 264】	当番医	当番医	当番医	当番医	当番医	新患担当は、内科系医師の交代制です。
肝臓内科 【内線 208】	佐藤 丈顕 荒武 良総	佐藤 丈顕	佐藤 丈顕	國吉 政美	國吉 政美 荒武 良総	
血液内科 【内線 208】	武藤 敏孝	高月 浩	武藤 敏孝	高月 浩		※血液内科について下記欄外参照ください。
糖尿病・内分泌代謝内科 【内線 264】	加来 真理子 林 加野 戸高 悠	加来 真理子 今蘭 直博 上中 玲奈	加来 真理子 林 加野 上中 玲奈	加来 真理子 林 加野	今蘭 直博 戸高 悠	
呼吸器内科 【内線 208】	休診					
循環器内科 【内線 202】		鈴木 哲	鈴木 哲		◆	新患：連携室へ事前相談 (急患不可) ◆他院より派遣医師
消化器内科 【内線 205】	河邊 顕	村尾 寛之 林 康代	河邊 顕 林 康代	村尾 寛之 林 康代	河邊 顕 村尾 寛之	痔疾患は河邊医師が担当。
消化器・一般外科 【内線 205】	鈴木 宏往	田辺 嘉高 山田 裕	田辺 嘉高 田邊 麗子	鈴木 宏往 堤 宏介	田邊 麗子	
乳腺外科 【内線 205】	堤 宏介	轟木 秀一 山田 裕	◇予約のみ	轟木 秀一	轟木 秀一	◇印 予約のみ
整形外科	深川 真吾 長谷川 晃大 中尾 允哉	八木 宏樹	深川 真吾 長谷川 晃大 八木 宏樹	長谷川 晃大	深川 真吾 八木 宏樹 中尾 允哉	
小児科 (午前) 【内線 209】	◇※牧村 美佳 安永 由紀恵 安成 大輔 中嶋 敏紀	▲安成 大輔 安永 由紀恵 米良 智子 ★渡辺 恭子 中嶋 敏紀 ★緒方 怜奈	◇牧村 美佳 松永 千恵 河原 典子 ◎大野 拓郎 ●安永 由紀恵 ◇九大より派遣 (第2・4週)	河原 典子 中垣 彩 米良 智子 ★※緒方 怜奈 中尾 泰介	◎大野 拓郎 河原 典子 牧村 美佳 ◎古賀 大貴 ★渡辺 恭子 ★緒方 怜奈 ★安永 由紀恵	◎循環器外来 (予約制) △アレルギー外来 (予約制) ★神経外来 (予約制) ◇内分泌外来 (予約制) □新生児外来 (予約制) ※初診のみ ●予約制 専門外来新患は要電話予約 (9:00 ~ 14:30 電話受付) 詳しくは病院ホームページ
小児科 (午後) 【内線 209】	1か月健診：松永 中嶋 敏紀 ◎※古賀 大貴 山喜多 悠一	※▲安成 大輔 中嶋 敏紀 ◇多久 葵 藤川 諒太 ★渡辺 恭子 ★緒方 怜奈	◇牧村 美佳 倉田 浩昭 湯浅 千春 ◎大野 拓郎 ★九大より派遣 (第3週)	1か月健診 中嶋 敏紀 川上 勲 ★緒方 怜奈	▲米良 智子 倉田 浩昭 湯浅 千春 ◎古賀 大貴 ★渡辺 恭子 ★緒方 怜奈 ★安永 由紀恵	
小児外科 【内線 209】	[手術日] (急患のみ可)	中村 晶俊 生野 久美子 橋本 佳子 生野 猛	[手術日] (急患のみ可)	中村 晶俊 生野 久美子 橋本 佳子 ◎生野 猛	中村 晶俊 生野 久美子 橋本 佳子 生野 猛	◎小児泌尿器外来 急患は随時対応
産科・婦人科 【内線 204】	*川上 浩介 河村 京子 石橋 弘樹 藤川 梨恵 中並 弥生 竹内 一輝 竹内 敬祐	*川越 秀洋 中並 弥生 牛島 崇 牟田 満 光山 文彦 [手術日]	*川上 浩介 徳田 諭道 河村 京子 森岡 将来 石橋 弘樹 堀 洋暢 牛島 崇	*川越 秀洋 森岡 将来 藤川 梨恵 堀 洋暢 牟田 満 光山 文彦 熊谷 晴介	*川上 浩介 徳田 諭道 仲 碧子 竹内 一輝 吉川 秀昭 [手術日]	*印 新患担当 新患は紹介患者様のみ
泌尿器科 【内線 213】	◆	[休診]	[休診]	◆	◆	◆他院より派遣医師
皮膚科 【内線 8080】	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	土井 和子 酒井 雛子	
眼科 【内線 212】	能美 典正 海津 嘉弘 松井 孝介	松井 孝介 海津 嘉弘 [手術日]	宮城 美智子 海津 嘉弘 (奇数週) 松井 孝介	能美 典正 海津 (奇数週) 松井 (偶数週) [手術日]	能美 典正 海津 嘉弘 松井 孝介	新患：連携室へ事前予約 急患は事前相談を 火・木は10:00で受付終了
精神科	*磯村 周一 今村 真帆 江夏 真一郎 上野 桃	*権藤 知子 今村 真帆 江夏 真一郎 古賀 美紗樹	*江夏 真一郎 磯村 周一 今村 真帆 権藤 知子	磯村 周一 権藤 知子	*古賀 美紗樹 磯村 周一 権藤 知子 大喜多 洋	*印 新患担当 新患は要電話予約 (9:00 ~ 14:30 電話受付)
放射線科 【内線 231】	野見山 弘行	野見山 弘行 脇山 浩明 (午後)	野見山 弘行	野見山 弘行	野見山 弘行 高木 正統 (午前)	
耳鼻咽喉科 【内線 8320】	[休診]	◆	[休診]	[休診]	◆	◆九大より派遣医師
消化管内視鏡 【内線 379】	村尾 寛之 林 康代	河邊 顕	村尾 寛之	河邊 顕 佐藤 丈顕 荒武 良総	林 康代	

注)：受付時間：午前8:30 ~ 11:00 (急患については、この限りではありません)

注)：不在の場合は担当医が変更になることがあります。

注)：詳しくは、病院ホームページをご覧ください。

注)：血液内科診療につきまして、診療体制の都合上、新規の紹介患者様の受け入れに、ご迷惑をおかけする場合があります。